

「固有 ID」によるドメイン認証

固有 ID（英数文字列）は、申請頂いた証明書毎に、米国認証局アルゴリズムが自動生成し、別途 「ドメインコントロール検証が必要です」なる件名のメールにてご連絡致します。

（注）マルチドメイン証明書では收容されるすべてドメインに対しては **1**つの「固有 ID」を共有します。

【必ず、お読みください！】

1. 2021年12月以降、「Web page 認証」を選択された場合、コモンネームドメインに **www** を加えたり、あるいは削除した上で付帯ドメインを無償追加するサービス（ワイルドカード証明書は対象外）の利用はできなくなりました。

例えば、`coolexample.com` を コモンネーム として申請し、「Web page 認証」によりドメインのコントロールを検証する場合、発行された証明書は `www.coolexample.com` を付帯ドメインとして無償追加できません。

www を 加えたり、あるいは削除した上で付帯ドメインを無償追加されたい場合は、ドメイン認証時、「方策1：DNS 認証」 あるいは「メール認証」を選択してください。

詳しくは、https://www.jcert.co.jp/support/faq3/#faq3_12 をご参照ください。

2. 固有 ID を施した DNS/TXT レコードや、認証用 Web page は、証明書発行後 削除頂いて結構です。

【方策 1 : DNS レコード認証】

・「ベースドメイン (ネイキッドドメイン とも呼びます) 」の **DNS** 設定に「**TXT** レコード」を “追加” 頂くことでドメイン利用権限の認証を行います。(現状に影響及ぼさぬ様、**DNS** 設定ご担当部署・業者に作業頂くことを、強くお勧めします。)

- ベースドメインとは、(独自ドメイン) + **TOP LEVEL DOMAIN** で構成され、**TOP LEVEL DOMAIN** とは、**.co.jp** や **.com** 等含め、全世界の認証局が公認している以下リスト (**Mozilla** 社発行) に記載されている必要があります。

https://publicsuffix.org/list/public_suffix_list.dat

(市町村等の **TOP LEVEL DOMAIN** にはご注意ください。)

- 例えば、証明書のコモンネームが、www.xyz.example.com ある場合には、**example.com** がベースドメインとなります。

- 必ず、対象ドメインの「名前解決」に利用している **DNS** 上で設定してください。(特に、ドメインとサーバの管理業者が異なる場合ご注意ください。)

・この方法は、「Domain Zone Control」と呼ばれ、証明書申請者が申請ドメインの「利用権限」を有していることの証として、申請ドメインを構成する「ベースドメイン」の **DNS** 上で「**TXT** レコード」として、米国認証局が申請毎に指定する「固有 **ID**」を追加登録頂くことで、検証いたします。

・DNSに「TXT レコード」として固有 ID の設定が完了されましたら、「ドメインコントロール検証が必要です」なる件名のメールの最下段に貼付されているリンク先で、正しく設定されたかどうかの検証（「今すぐ確認」ボタンをクリック）を実施してください。

※ 当該リンク先の表示言語（英語->日本語）の変更方法は、本ガイド末尾をご覧ください。

ドメインオーナーシップの検証（HTMLまたはDNS）

DNSレコード

DNSレコードの変更を行ってドメイン制御権を証明した場合、下のボタンをクリックすると、その変更が検証されます。



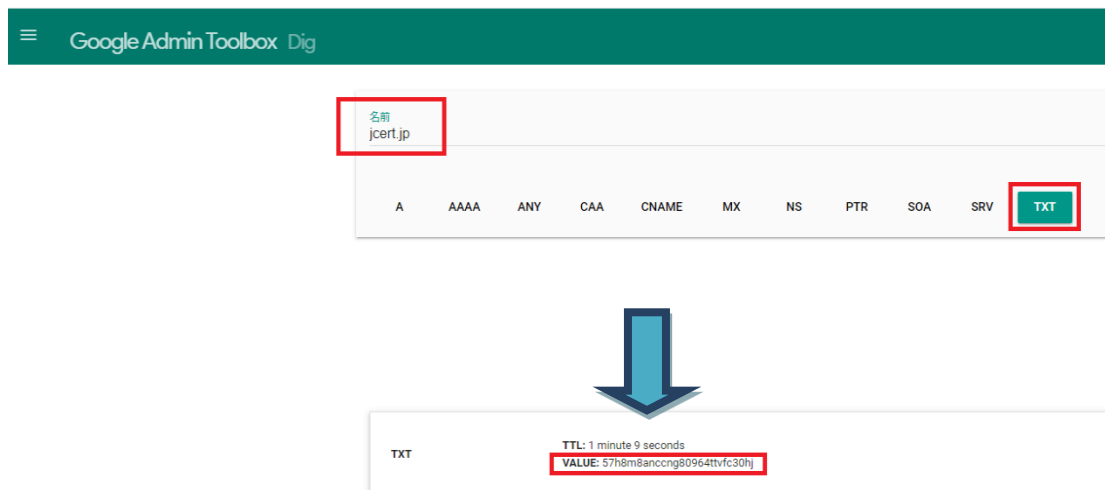
DNSレコードの変更に関するヘルプは、こちらをクリック：
https://www.secureserver.net/help/article/7452?prog_id=504762

HTMLページ

HTMLページの変更を行ってドメイン制御権を証明した場合、下のボタンをクリックすると、その変更が検証されます。

HTMLページの変更に関するヘルプは、こちらをクリック：
https://www.secureserver.net/help/article/7452?prog_id=504762

（捕捉） DNS 設定内容については、Web 検索でヒットする各種 TXT record lookup ツールにて、お客様ご自身で容易に確認頂けます。例えば、
<https://toolbox.googleapps.com/apps/dig/#TXT/>



The screenshot shows the Google Admin Toolbox Dig interface. At the top, the domain 'jcert.jp' is entered in the '名前' field. Below the domain, there are tabs for different DNS record types: A, AAAA, ANY, CAA, CNAME, MX, NS, PTR, SOA, SRV, and TXT. The 'TXT' tab is selected and highlighted with a red box. Below the tabs, a large blue arrow points down to the results section. In the results section, the record type is 'TXT', the TTL is '1 minute 9 seconds', and the 'VALUE' is '57h8m8anccng80964ttvc30hj', which is also highlighted with a red box.

【方策 2 : Web page (HTML ページ) 認証】

- ・ワイルドカード証明書にはこの代替策はご利用頂けません。
- ・ **Webpage (HTML ページ)** によるドメイン利用権限の認証を行います。
- ・この方法は、「Webpage Control Validation」と呼ばれ、証明書申請者が申請ドメインの「利用権限」を有していることの証として、当該申請ドメインの配下に以下のディレクトリで構成した URL に **認証ファイル** を新規作成頂くことで検証いたします (当該 URL は「ドメインコントロール検証が必要です」なる件名のメールにてご案内しますので、そちらをご活用下さい) :

- URL は、**http or https** いずれでも **OK** です。 (ただし、**https** での設定は、更新時に限ります。)

<http://申請 FQDN/.well-known/pki-validation/starfield.html>

<https://申請 FQDN/.well-known/pki-validation/starfield.html>

- さらに、当該ページは白紙ではなく、証明書毎に割り当てられた「固有 ID」を **html** にて記載してください。 (以下挿絵はサンプル HTML ページとなりますので、ご参照ください。)



(サンプル HTML ページ↑ では、「固有 ID」は、**96qv6gv97bp04s73gqp2iuof86** が見本として設定されていますが、実際には、ご注文完了後、米国認証局アルゴリズムが自動生成する「固有 ID」をメールでご連絡します。)

➤ **リダイレクト先に認証ファイルを置かず、当該 URL 直下に設定してください。**

・最後に、Webpage（HTML ページ）に認証ファイル（固有 ID を明示した）の設定が完了されましたら、「ドメインコントロール検証が必要です」なる件名のメールの最下段に貼付されているリンク先で、正しく設定されたかどうかの検証（「今すぐ確認」ボタンをクリック）を実施してください。

※ 当該リンク先の表示言語（英語→日本語）の変更方法は、本ガイド末尾をご覧ください。



【ドメイン所有権検証完了画面】

方策 1 or 2 により、次の画面に遷移すれば、ドメイン所有権の検証は完了です。

ドメインオーナーシップの検証 (HTMLまたはDNS)

ドメイン所有権の検証 (HTMLまたはDNS) を完了しました
ドメインの所有権を証明できました。

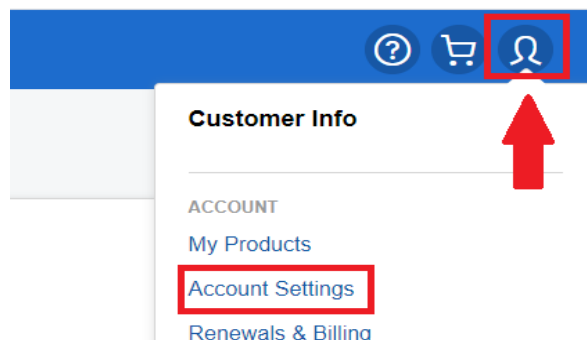
（捕捉）なお、上記お客様自身による設定検証結果、以下の挿絵のような「有効期限切れ・無効」なる旨メッセージが表示されることがありますが、これは、米国認証局側でも 1 日に数回バッチ処理により設定検証を実施しており、そちらが先にヒット（検証済）したことを示すものであり、何ら問題はありません。

ドメインオーナーシップの検証（HTMLまたはDNS）

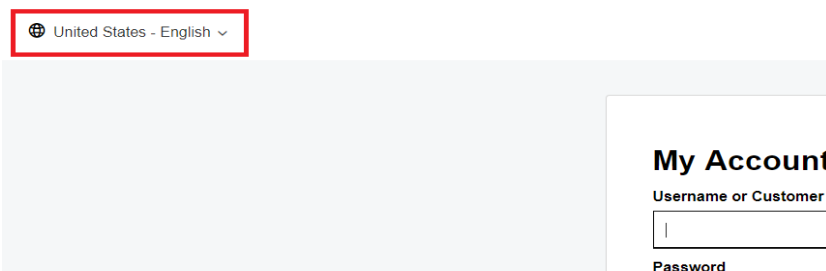
ドメイン制御用の固有トークンが有効期限切れまたは無効です。本要求のための新しいトークンが記載されている直

※ リンク先の固有 **ID** 設定検証ページの表示言語（英語->日本語）を変更するには？

1. リンク先ページ右肩上の“人”アイコンをクリックし、更に「**Account Settings**」を選択



2. 遷移ページの“ログイン”コーナーは無視し、左肩上の言語選択をクリック



3. 日本語を選択してください。

